

飛躍

H I Y A K U
第318号

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日／2013年2月1日
●発行者／東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

高校サッカーチーム T1リーグに昇格 東海大学進学相談会開催



高校サッカーチーム



高2 東海大学進学相談会(教養学部国際学科)



高3 特別講座でJAICAを訪問

東海大学進学相談会開催

2013年1月12日(土)に、本校において高校2年生を対象とした東海大学進学相談会が開催されました。32名もの大学の先生に講師としてご来校いただき、三者面談(10/12~11/16実施)・オープンキャンパス(11/23実施)を経て、進路の最終決定に向けての貴重な説明をいただいたり質問をしたりすることができました。保護者の方にも300名以上参加いただきました。午後には教員研修が行われ、付属高校と大学の先生の貴重な意見交換の場となりました。進路決定に大いに役立ててもらい、高校3年生の6月に1人でも多くの生徒が希望学科の推薦候補者となるように期待しています。

生徒より



自己実現

宮坂 慎太朗

2年5組 横浜市立今宿中学校出身

東海大学進学相談会では、大学からたくさんの方々が高校に足を運んでくださり、直接貴重なお話を聞いていただき、とてもためになりました。先生方のお話を聞いて、まず思ったことは、大学は高校とはまるで違い、自主性を求められる場所だということでした。良くなるのも、悪くなるのも自分次第だと思います。

と思います。その点に関しては社会と似ていて、とても厳しい場所だと思いました。また、先生方のお話を聞いて、特に印象に残ったことは、学部・学科を選ぶ際に、大学の4年間を決めるのではなく、その後の約40年間の人生を決めるということを念頭に置くべきだということです。その際に、ある程度は自分の適性を自覚しなければいけないということでした。有意義な大学生活を送り、その後の人生に役立てるためにも、まずは自分自身を見つめなおし、自主性を持って、しっかりと進路選択をしなければならないと思うようになりました。

大学の先生より

2012年度進学相談会に出席して



岩森 晓

東海大学工学部機械工学科教授

2013年1月12日土曜日、東海大学進学説明会が開催され400名あまりの在校生、保護者の方を含めると700名あまりの方にお集まりいただきました。大学側からは32名の教職員が説明会に出席し、それぞれが分担して説明いたしました。昨年に続き、機械系5学科を担当し、工学部の概略、その後5学科の特徴について、最後に大学でのカリキュラム・卒業研究など大学生活に関する説明を、機械工学科を例に動画

を用いて説明いたしました。高輪台高校で実施する大学説明会で毎回思うことは、生徒はもちろんのこと、保護者の方も熱心に耳を傾けられているのが印象的でした。また、現在の2年生から付属生の進路内定の時期が早まり、すでに昨年の11月23日に希望学科説明会を開催しているため、ほぼ希望の進学先を決めているようでした。進学相談会は大学で実施する希望学科説明会の前に実施した方がよいかもしれません。説明会終了後、昼食をはさんで高輪台高校の先生方とグループ懇談会が行われました。大学教員側から改めて今回の説明会の概略と、高輪台高校出身学生の現状を説明いたしました。具体的に学生個人の名前を挙げて最近の様子を話すと、懐かしく、安堵されている様子が印象的でした。

高輪台高校では東海大学を中心とした学園グループ全体への進学者が90%に達したことですが、1人でも多くの生徒さんが東海大学に進学してもらえるよう、大学の魅力を今後もアピールしていきたいと思います。



教員研修

午後の教員研修の時間には、大学の先生方と本校の教員が6グループに分かれて約90分の忌憚のない意見交換会を行いました。最新の大学情報を含めて、お互いに疑問点・問題点を出し合って、時間内に収まりきらないほど活発な討議が行われました。

教員研修の様子

2012年度学校運営方針

キャリア教育の充実

今年度高校3年生の東海大学関係進学者は、403名(含短大29名)が決まりました。これから付属推薦進学予定者が高校3年生の6月早々に決定していきます。よって、高校1年生当初からの進路指導が重要となってきます。学級担任、学年、進路指導部、教頭、校長などの面接を通して、きめ細かい指導を行っていきます。

つねに、生徒自らが進路に対して意識するよう意識づけの徹底を図ります。

- (1)全教員が東海大学の学部や学科の内容を深く理解し、個々の生徒に対して、細かく適切な進路指導ができるようにします。
- (2)東海大学での体験留学、ハワイ短期および長期留学、東海大学エクステンションセンターなどの利用により、今以上の教育環境の充実を図ります。
- (3)SSH研究開発において取り組んでいる企業連携を通して、様々な企業で学んだことを、生徒全体に伝え・広め、現実をしっかり理解した進路指導を行います。

各行事の確立と見直し

高校で行われる主な行事は、1年生の東海大学湘南キャンパス見学、2年生の研修旅行(オーストラリア・ハワイ・沖縄・北海道)、学園オリンピック(スポーツ大会)、ハワイで行われる中期・長期留学があります。また、中等部では校外活動(博物館・古典芸術鑑賞など)、中等部体育祭、水泳実習、英語関係(1年:東京サイトseeingツアー、2年:イギリッシュサマーキャンプ、3年:ニュージーランド海外英語研修旅行)、合唱祭などがあります。そして、高校と中等部共通の部分では、学園オリンピック(国語、数学、英語などの8分野)、剛健旅行、建学祭、中等部高校合同体育祭があります。これら現在行われている多くの行事を再点検し、生徒にとって最も有意義で意味のある行事を展開できるようにしていきたいと考えています。良き伝統として行われているものは大切に引き継ぎ、変化を与えることにより今まで以上の教育効果が得られるものは取り入れていきたいと考えています。



建学祭



学園オリンピック数学部門

中等部1学年だより

落語鑑賞

2012年最後の定期試験が終了し、ようやくホッとした昨年の師走。中等部1学年はお江戸両国亭にお邪魔し、日本の伝統芸能を体験させていただきました。本物のはなし家さんたちを目の前にして生の落語を聞き、笑いや驚きの連続でした。落語を通して、日本の伝統芸能を肌で感じることができたのではないかでしょうか。今回は落語を聞いた生徒の感想を紹介します。

初めての落語

白田 航暉

1年B組 淑徳小学校出身

12月4日、僕たち1年生は両国駅の近くにある、お江戸両国亭という落語を聞けるところに行きました。僕は落語を聞くのが初めてだったので、とても楽しみでした。

一番最初の人と最後の人の落語は面白い物語で笑いが絶えませんでした。内容も全然違い、面白かったです。二番目は、歴史上の人物を話に使うというものでした。内容は難しいものでしたが、はなし家さんが説明をしてくれたので、わかりやすかったです。

三番目は奇術でした。僕はマジックが好きなので、見るのが待ち遠しかったです。仕掛けは、まったくわからなかったので「僕にもできたらなあ」と思っていました。すると、最後に1つだけマジックを教えてもらいました。簡単なので、今度は父と母にやって見せてあげたいです。

今回初めて落語を聞き、また見に行きたいと思いました。

面白い体験

巴 建二

1年A組 大西洋園小学校出身

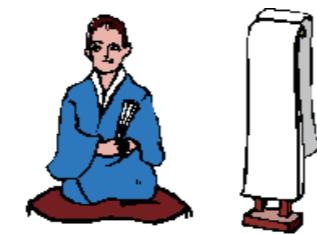
僕は落語が大好きで、よく浅草に聞きに行きます。落語は最近テレビに出てるお笑い芸人とは違った面白さがあつていいと思います。お話のプロなので思わず、吹き出します。落語家の人が扇子をペンのようにしたり、矢のようにしたりすると不思議と本物に見えました。人にどのようにしたら面白おかしく伝わるかを日々考えている人は、やはりすごいと思いました。また、間にマジックをしてくれた人がいましたが、落語の後なのでより一層新鮮に感じました。やり方も実際に面白いものでした。

この日聞いた中で僕が一番印象深かったのは、最後に落語をやってくれた人です。最近のネタから昔の話まで、いろいろなことをお話ししてくださってとても楽しかったし、落語は最後まで聞かないと面白くないというところも興味深く感じました。

僕にはなし家さんたちのように面白く話せる方法を、教えてほしいと思いました。また、機会を見つけて家族と来てみたいと思いました。その時は、いろいろな質問をしてみようと思います。



開演直前。生の落語ってどんな感じなんだろう??



中等部2学年だより

合唱祭一金賞・銅賞受賞

2012年10月に建学祭、中等部・高校合同体育祭、合唱祭が実施され、文字通り、3部作が完結しました。その最後を飾った合唱祭は10月31日(水)に行われました。昨年の先輩たちのレベルを痛感し、今回は練習に練習を重ねた結果、両クラスとも昨年の雪辱を果たすことができ、A組は金賞を、B組は銅賞を手中に収めることができました。さらに、伴奏者賞には桑原千晶さんが選ばされました。

A組の曲は『COSMOS』(飯塚真央さん指揮、桑原千晶さん伴奏)、B組の曲は『心の瞳』(成田理南さん指揮、浅野桃佳さん伴奏)でした。

皆でやり遂げた合唱祭

星 佑樹

2年A組 文京区立林町小学校出身

僕たちは合唱祭で『COSMOS』を歌いました。結果は堂々の金賞でした。B組は銅賞だったので、B組にも3年生にも勝つことができました。

金賞を取ることができたのは、皆が一生懸命努力をして、練習を重ねたからだと思います。全員の心が、最終的に、完全にひとつになったかどうかはわかりませんが、ほとんどの人が心をひとつにして歌っていたからこそ受賞だと思います。

僕は音痴なので、最初の頃は、正直なところ、しっかり歌うことができるか不安でした。歌唱力はなかったので、とにかく大きな声で歌うことを心掛けていました。しかし、ただ単に声が大きいだけではダメだと思ったので、練習を多くしました。特に、浅野先生の個人指導は効きました。ピアノの音を聞いて、その音に合った高さの音を出すという練習方法です。練習開始の頃は音が全然合わなかつたけれど、時間とともに合うようになりました。部活動を休んで合唱練習をしたお陰で、結構うまくできるようになりました。

3年生になつたら、全員の心をひとつにして歌いたいです。



金賞に導いた指揮者の飯塚真央さん



伴奏者賞受賞の桑原千晶さん



金賞受賞を祝して

高まった団結力

渡邊 春美

2年B組 港区立南山小学校出身

私は、この合唱祭を通してクラスの団結力が高まつたと思いました。

私たちはほぼ毎日、放課後残って合唱練習をしました。早く帰宅したい人もいたと思う。しかし、皆がちゃんと残って練習したこと意味があったと、今ならわかるような気がします。指揮者とうまくコミュニケーションが取れなかった時もありましたが、伴奏者が間に入ってくれたことで、最後にはコミュニケーションが取れたと思います。当日の朝、皆よりも早く登校して、いろいろと準備をしてくれた仲間のお陰で、声がいつも以上に大きくなつたのだと思います。

私たちのクラスは銅賞に輝きましたが、このメンバーで合唱祭を経験でき、とてもうれしかったです——悔しい思いはありません。今年は最後の合唱祭になるので、悔いのないように頑張ります。



成田理南さんの指揮で



銅賞受賞のB組



浅野桃佳さんの奏でる音に合わせて

中等部3学年だより

テーブルマナー講座

生徒たちは、霞が関の東海大学校友会館でマナー講座を受けてきました。おいしい食事とともにマナーの大切さや、美しく食事をすることの難しさを体験しました。このマナー講座での経験は、後の生徒たちの人生においてたくさんの場面で役立つことでしょう。

ホームステイに備えて

森井 啓貴

3年A組 川崎市立井井田小学校出身

霞が関にある校友会館でテーブルマナー講習がありました。事前に10分程度のビデオを見てから臨みましたが、本番当日には緊張して頭が真っ白になってしまい、事前学習の内容を忘れてしましました。しかし同じテーブルの仲間と助け合いながら、マナーを守って楽しく食事をすることができました。普段私はお箸を使っており、フォークやナイフだけを使う食事の機会があまりないので、良い経験となりました。2月にはニュージーランドでのホームステイが控えています。ホストファミリーに失礼のないように、家でもテーブルマナーを練習していきたいと思います。



テーブルマナーを学んで

野田 修平

3年B組 江東区立第一大島小学校出身

私はテーブルマナーについて学んで、改めてマナーについて考えさせられました。

テーブルマナーは、以前父から教えてもらったことがありました。現地でいただいたワークシートを見た時に細かいマナーが多く書かれていて驚きました。

コース料理は次から次へと料理が出てきました。そして、ウェイターの人がさまざまなことを教えてください、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回テーブルマナーを学んで、マナーの必要性を感じました。電車中や物を使う時のマナーまでしっかり見直そうと思いました。2月にニュージーランドに行くので、相手に失礼のないようにマナーを身に付けたいです。



ニュージーランド研修

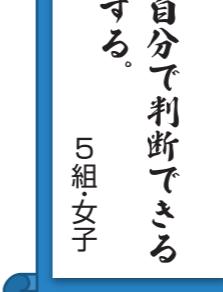
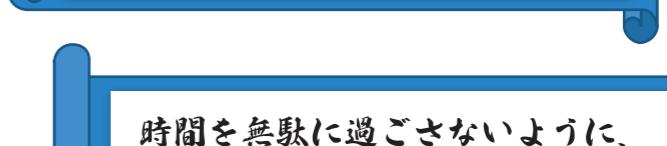
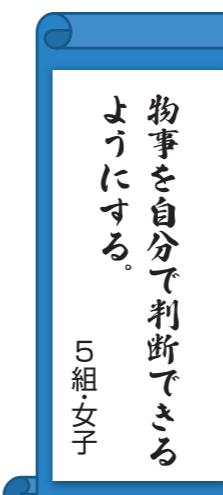
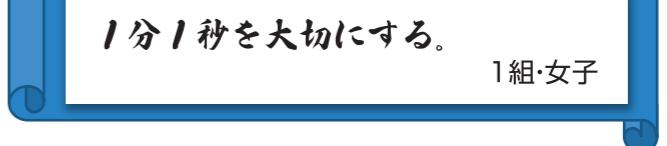
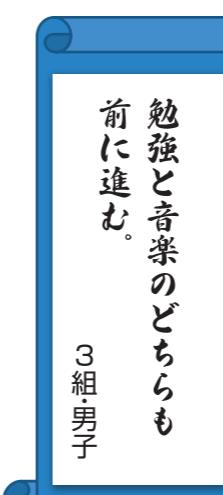
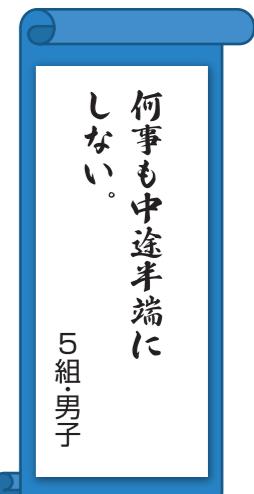
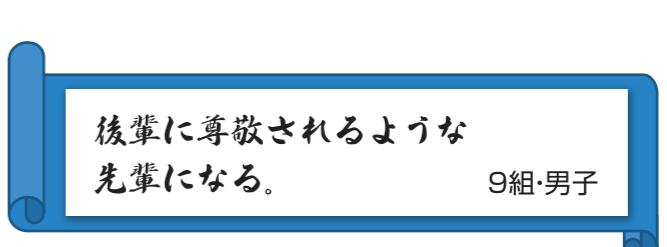
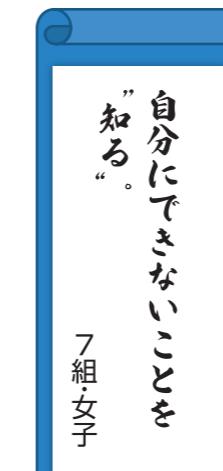
いよいよ2月13日(水)から2月22日(金)まで、中等部3年生はニュージーランドの北島にあるオークランドで、8泊のホームステイを行います。昼間は語学学校に通い現地の学校を訪問したり、市内フィールドワークで博物館を見学したり、羊の毛刈りショーを見たりと楽しみなプログラムがたくさんです。また、週末2日間はホストファミリーと一緒にニュージーランドの生活を体験します。

ニュージーランドから帰国した時には、生徒たちは多くのものを見たり体験したりして、一回り大きな人間として成長していることでしょう。

高校1学年だより

新年の抱負

2013年のホームルーム活動は「今年の目標」を考えることから始まりました。この1年を有意義に過ごすためにも、はじめが肝心。みんな、目標が達成できるといいですね。



高校2学年だより

スポーツ大会

2012年12月8日(土)、本年度2回目となるスポーツ大会が本校アリーナで実施されました。

選手はクラスの名前をかけて熱く戦い、その選手たちに対して男女分け隔てなく応援する姿、友情とクラスの絆が深められた1日となりました。今回のスポーツ大会を通してさらにクラスの団結が深められることを期待しています。みんなよく頑張った!

総合優勝

森 拓也

2年1組 横浜市立岩井原中学校出身

1組の一員となって半年が経ちました。今回のスポーツ大会の種目は「バスケットボール」、「ドッジボール」、「バレーボール」、「綱引き」の4種目でした。私たちのクラスは、悲願の総合優勝をすることができました。結果も大事ですが、いろいろな競技に対しみんなが一丸となれたことが、一番よかったです。特に「綱引き」では、みんなで優勝をめざし、目標に向かって「絆」を深め、全力で決勝に臨んだことが印象に残っています。

改めて、1組の団結力を「スポーツ大会」、そして「総合優勝」をして実感することができました。



総合優勝

石川 雄太

2年8組 川崎市立玉川中学校出身

光る汗が体操着を染めていく。響き渡る応援の声が選手たちをさらなる高みへ導いていく。刹那、1人の選手がドリブルで敵陣を切り裂いていった。湧き上がる歓声とともにゴールに吸い込まれていくボール。「円陣だけにエンジン全開!」と私が試合前にかけた言葉通りに、選手たちは満身創痍になりながらも最後までエンジン全開で駆け抜けてくれていた。無我夢中でスポーツに取り組む姿はまさに青春であった。激闘の果てに掴んだ総合優勝。閉会式が終わっても冷めやらぬ興奮。少しだけ、もう少しだけの間、勝利の美酒に酔っていてもいいだろう。8組史上最高の思い出になるに違いない。この胸にこみ上げてくる気持ちを私は他のクラスの人たちにも伝えたい。



大会結果

各競技 優勝 クラス	ドッジボール：1組 バスケットボール(男子)：3組 バスケットボール(女子)：7組 バレーボール(男子)：7組 バレーボール(女子)：8組 綱引き：8組
------------------	---

総合
優勝

1組・8組



高校3学年だより

特別講座

高校3年生は、卒業試験終了後の12月7日から1月31日までの期間、特別講座を行っています。大学入学後の授業をスムーズに理解し受講できるようにするために進路別にクラス編成を行い、進路に応じた授業を展開しています。企業と連携した授業や施設に行ってお話を聞くなど、さまざまな取り組みを行っています。今回は、いくつかの特別講座の感想を聞いてみました。

東京証券取引所を見学して

大西 雄平

3年6組 品川区立日野中学校出身

東京証券取引所を訪れて、私はさまざまなことを知ることができました。証券取引所とは株などの有価証券を売買するところで、1日に1兆円以上のお金が動く場所だそうです。正直、1兆円と言われても全く想像ができないのですが、積み上げていくと1万メートルにもなるそうです。そんなお金が毎日動いているなんて驚愕の一言に尽きます。また株式会社についても貴重なお話をいただきました。その歴史はとても深く400年前まで遡ることができ、近年ではこの株式を用いて19歳で上場を果たした社長も誕生したそうです。東京証券取引所はいつでも見学できるので、機会があれば行ってみることをお勧めします。

JTB(企業連携の授業)

原島 翔

3年8組 中野区立第四中学校出身

私は今回JTBさんの出前授業を受けて、旅行会社について興味を持ちました。一番印象に残ったことは旅行プランを作ったことです。私たちのグループは、沖縄の旅行プランを作りました。沖縄の旅行パンフレットとパソコンを使い、旅行日・時間・ホテル・移動手段・場所などを決めました。簡単に思えましたが、移動時間や費用も考える必要があり、とても難しかったです。最後に社員の方に、勤めて楽しかったことやうれしかったことを聞きました。旅行会社はお客様を喜ばせるだけでなく、喜びを共有できる仕事だと知りました。私は、この授業で旅行会社に勤めてみたいと思いました。

Jリーグ(企業連携の授業)

田島 健太

3年5組 大田区立出雲中学校出身

1時間目の授業では、Jリーグに関する仕事について学びました。Jリーグに限らず、さまざまなスポーツにおいてさまざまな職業の人々が関わっているということがわかりました。警備員や清掃員など裏方の仕事をしている方々も、それぞれ自分の仕事に誇りを持って常に働いています。こういう人たちの力が結集して1つの競技をつくっていることを強く感じられました。

2時間目は、元Jリーガーの武市さんの授業でした。「君たちには無限の可能性などない。だから普段の1日1日を大切にしてほしい」という厳しい言葉をもらいました。さすがはプロという厳しい世界で生きてきた人だなと感じました。自分もこの言葉を胸に、これから大学生活を送っていこうと思います。

サイエンスコミュニケーター

小川 雄樹

3年10組 川崎市立大師中学校出身

私たちはサイエンスコミュニケーターとして、高輪台小学校の児童と本校中等部1年生に科学の授業を行いました。授業といつても教科書の内容を黒板に書いて行う授業ではなく、自分たちで調べて考えたことを発表するプレゼンテーションでした。6班に分かれて、それぞれのテーマについて実験を交えて楽しく授業をします。科学に興味を持ってもらえるように12月から入念に計画を練り、何回もリハーサルをしました。私の班は物質の状態変化の授業を行いました。分子や温度など、まだ彼らが習っていないことをなるべくわかりやすく説明するのは難しかったですが、やりがいがありました。実験では液体の酸素を作ったり過冷却をしたり、普段あまり目にしない物質の変化を見てもらいました。喜んで楽しそうに授業を受けてもらえたので、苦労して準備をしたかいがあったと思います。

第32回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

隠された意図

岡島 萌佳

1年5組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

ずっとヨーロッパへの憧れを抱いていて、いつか行ってみたいと思っていた私にとって、今回の研修はヨーロッパの歴史や文化について学ぶ良いチャンスだと思いました。両親からも、「クリスマスシーズンにこんなにたくさんの有名な場所を見られるのはすごいことだし、必ず良い経験になる」と勧められ、参加できると知った時は胸が躍ったのを覚えています。

コペンハーゲンでは東海大学ヨーロッパ学術センター訪問や人魚姫の像の見学、ミュンヘンではシンデレラ城のモデルとなったとも言われているノイシュバンシュタイン城の見学、ザルツブルクでは「きよしの夜」の原点である記念堂でのコーラス参加、パリではルーブル美術館や凱旋門、ヴェルサイユ宮殿の見学をしました。こうして、実際にたくさんの歴史的建造物を見たり、文化に触れたりすることで、普段の授業では学べない奥深い歴史など、さまざまなことを学ぶことができました。

特に強い印象が残ったヴェルサイユ宮殿では、それぞれの部屋に



付けられている名前の由来や、飾ってある絵がどんな意味を持っているのかなど、どういう状況、意図で物事が行われ、作られたのかを知りました。たとえば、かの有名な鏡の間の壁一面に付けられた無数の鏡であれば、それはまだ電気もなく、暗い夜をろうそくで過ごしていた時に、昼間だけ庭園の池に反射した光を窓から通し、鏡に反射させて部屋を明るくしようとしたルイ14世の考えから生まれたものでした。

ヨーロッパには、作られた当時の人々の考えから歴史と深く関わりを持った建物がまだまだたくさんあります。だから今度は自分自身の力でヨーロッパに行き、今回とはまた違ったことを学びたいです。このような研修を企画してくださった方々、そしてこの研修に参加させてくれた両親に改めて感謝したいと思います。

ファミリー・スーパーサイエンス教室開催

12月16日、ファミリー・スーパーサイエンス教室を開催しました。ファミリー・スーパーサイエンス教室は、周辺地域の小学生を対象としたSSHクラスの生徒による科学教室です。元東海大学理学部物理学科教授の鈴木恒則先生による科学教室「光ファイバーと光通信のふしぎをしらべよう」と、生徒による体験実験を行いました。当日は、たくさんの小学生と保護者の方に来ていただき、大盛況でした。

テーマ	担当生徒(学年)	テーマ	担当生徒(学年)
科学講座	石黒 萌里(3) 濑戸龍太郎(3)	空気砲	小川 雄樹(3) 堀野 玲於(1)
	長瀬慶太郎(3) 五十嵐侃大(2)	ダイラタンシ	岩崎 俊哉(2) 國武 正太(1)
	五十嵐 慧(2) 芦野 光祐(1)	スライム	森田 友佳(3) 伊東慎一郎(1)
	浅山 和輝(1)	煮干しの解剖	明才地悠太(3) 松本 卓巳(1)
リバーシブル パズル ・ 一刀切り	後田さくら(3) 鶴巻 舞(3)	グラスハーブ	鈴木 詩乃(2) 桑田 寛規(1)
	足立 宏義(3)	紫キャベツ	有田 達也(2) 大木 章裕(1)
	大塚 榎一(2) 増田 憲(1)	液体窒素	齋藤 祐里(3) 山本 隼人(2)
	吉越 隼(1) 阿部 泰己(1)		菅野 智裕(2) 浅見 奈那(2)



3年間のスーパーサイエンス教室を通して

森田 友佳

3年10組 江戸川区立小岩第四中学校出身

私は、スーパーサイエンス教室で3年間体験実験のスライムを担当してきました。毎年、スライムは人気があります。スライムを楽しんでいる子のためにも、少し変わったスライムを作れるように、3年間工夫して行つきました。今年度は、光るスライムと、色付きのスライムを作りました。毎年大変なのは事前準備で、いい固さのスライムを作るのに、試料の量を調整しながら何回もスライムを作りました。本番近くになると、スライムのために実験やレジュメの作成など大変です。しかし、それで

も3年間辞めずに続けてこられたのは、来てくれる小学生たちが、とても楽しそうに実験している姿を見られるからです。光るスライムは初の試みでした。光ることを教えないでスライムを作ってもらったので、みんなどんなスライムができるのかワクワクした顔で作っていました。光ったスライムを見た時はとてもうれしそうでした。最後に楽しかったと言ってもらえた時は、大変だったけれどやってきてよかったなと思いました。この活動を通して、学んだことを今後の進路に生かしていきたいです。

TOKAI キャンパスメッセージ

心理・社会学科で学ぶということ

文学部心理・社会学科 教授 大山 七穂

心理・社会学科は、心理学と社会学をベースに、現代社会が抱えている問題を研究、分析していくところです。「心理」が先になっていること、また近年のスクールカウンセラーの普及などから「臨床心理学を学びたい」「カウンセラーになりたい」といって進学してくる学生が少なくありません。しかし、現代社会が抱える問題は、個人とそれをとりまく人々で解決できるような問題ではないことがほとんどです。組織構造の問題であったり、社会制度の問題であったり、じつに多様で複雑な要因が絡まっています。ですから、社会学の知識も必要となります。心理学に比べると社会学はイメージしにくい領域ですが、「目から鱗」の社会の見方を学ぶ学問と言つてもよいかと思います。社会学を学ぶ

ことで、自分をとりまく世界が違って見えることもあります。進学してからその面白さに目覚める学生も少なくありません。3年次生になると、心理学や社会学それぞれの領域を専門としている先生のゼミに所属し

て、さらに深く学び考えていきますが、合宿や飲み会などゼミのイベントを通して先生やゼミ生と交流し、さらに大きく成長していくことができるかと思います。一生の友達にも出会えるのではないでしょうか。



飯島合宿

臨床心理士を目指して

横浜心理トレーニングセンター(高輪台高校2006年3月卒業) 水谷 正志

付属高輪台高校時代、カウンセラーの先生から「カニツツアの錯視」というものを教えていただきました。そこに浮かび上がる不思議な三角形を見て、私は心理学の世界に目を開かされました。その後、カウンセラーの先生と話させていただくうちに

「東海大学文学部心理・社会学科へ進学したい。そして、人間心理を学びたい」という気持ちが高まりました。

大学では心理学概論から、神経心理学、臨床心理学、社会心理学等、さまざまな角度から心理学を学ぶことができました。その後、大学院(文学科コミュニケーション学専攻)

に進み、学习心理学、精神医学、心身医学、グループアプローチについても学ぶことができました。

卒業後、「横浜心理トレーニングセンター」という心理臨床の場に就職しました。医師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士の上司たちのもとで半年間、クライアントのアセスメント、カウンセリングの行い方、リラクゼーション・トレーニングの方法等について、厳しい訓練を積み、先日クライアントの方を担当できる段階にまで進んできました。

不登校やパニック障害のクライアントの方が、一歩ずつ良くなっている姿に感動する毎日です。



お知らせ

基礎力判定テスト 高1、高2

日程 2月13日(水) **試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語**

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。
これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

中等部3年 ニュージーランド海外英語研修旅行

日程 2月13日(水)～22日(金)

オークランドで8泊のホームステイを行い、昼間は現地の語学学校で語学研修を行います。
英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、
現地校訪問では現地の学校で授業に参加し、牧場では羊毛刈りショーや見学します。
十分に準備をして素晴らしい思い出を作ってきてください。

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(金) 中等部第1回入学試験 生徒自宅学習日
- 2日(土) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(日) 中等部第2回入学試験
- 4日(月) 中等部第2回入学試験合否発表 振替休日(生徒休業日)
- 5日(火) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 6日(水) 卒業試験(中3、～8日)
- 10日(日) 高校一般入学試験
- 11日(月) 建国記念の日、高校一般入学試験合否発表
- 12日(火) 答案返却日(中3)
- 13日(水) 基礎力判定テスト②(高1・2、5教科)
ニュージーランド海外英語研修(中3、～22日)
- 15日(金) 振替休日(生徒休業日)
- 16日(土) 新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
- 19日(火) 校医相談日①
- 23日(土) 中等部新入生・保護者登校日(10:00～)
新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校一般)
- 27日(水) 高3登校日、中3振替休日

- 1日(金) 3年生を送る会
高輪会入会式(高3)
- 3日(日) 中等部第4回・高校第70回卒業証書授与式
- 5日(火) 後期期末試験(中等部1・2年、高1・2、～8日)
- 9日(土) 新1年制服採寸・教材販売(高校延納)
- 11日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 12日(火) 答案返却日
教科書販売(新中3、新高3)
- 13日(水) 生徒休業日
- 15日(金) 修了式・離任式
教科書販売(新中2、新高2)
- 16日(土) 高校新1年クラス分け試験
付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高1)
- 21日(木) 中等部希望者講習(～26日)
高校基礎力判定テスト結果補習(～26日)



開門



作文試験



面接試験



合否発表

編集後記

春の選抜高校野球の行進曲が、震災復興支援ソング「花は咲く」に決まった。テレビでたびたび流され、大みそかの「紅白歌合戦」でも取り上げられたので耳にされたことのある方も多いだろう。復興への想いを込めて、東北にゆかりのある34人の著名人が唄い継ぐ支援プロジェクトバージョンは、聴いたびに心に響く。この歌が多くの人びとの胸を打つのは、曲もさることながら、歌詞が亡くなつた人の目線から過去と未来を見つめて書かれているからかも知れない。ながく唄い継がれる歌になるだろう。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>